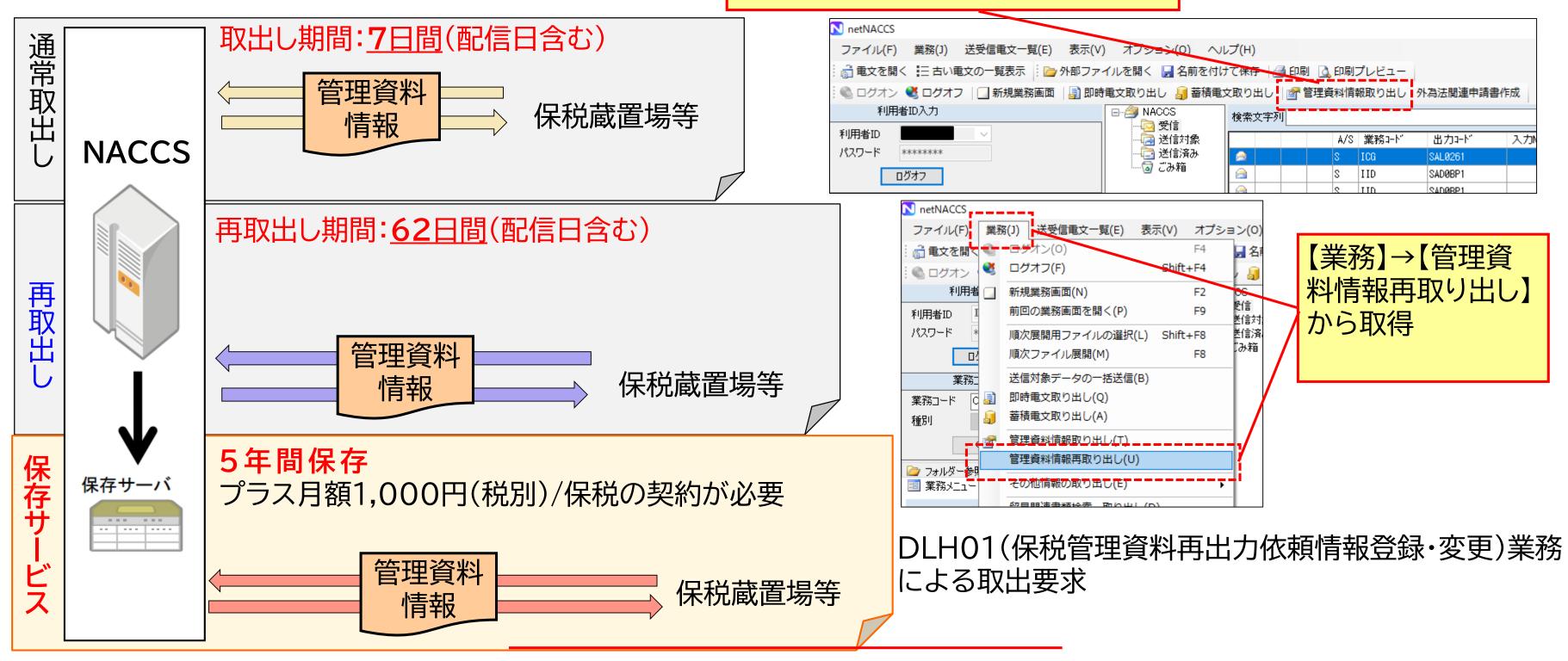


管理統計資料

管理統計資料について



【管理資料取り出し】ボタンから取得



管理資料の取得漏れは保税台帳の未記帳になる場合があります。上記期間に取得漏れがないよう管理が必要です。

管理統計資料について



保税台帳として取扱うことができる管理資料(保存サービスの対象)

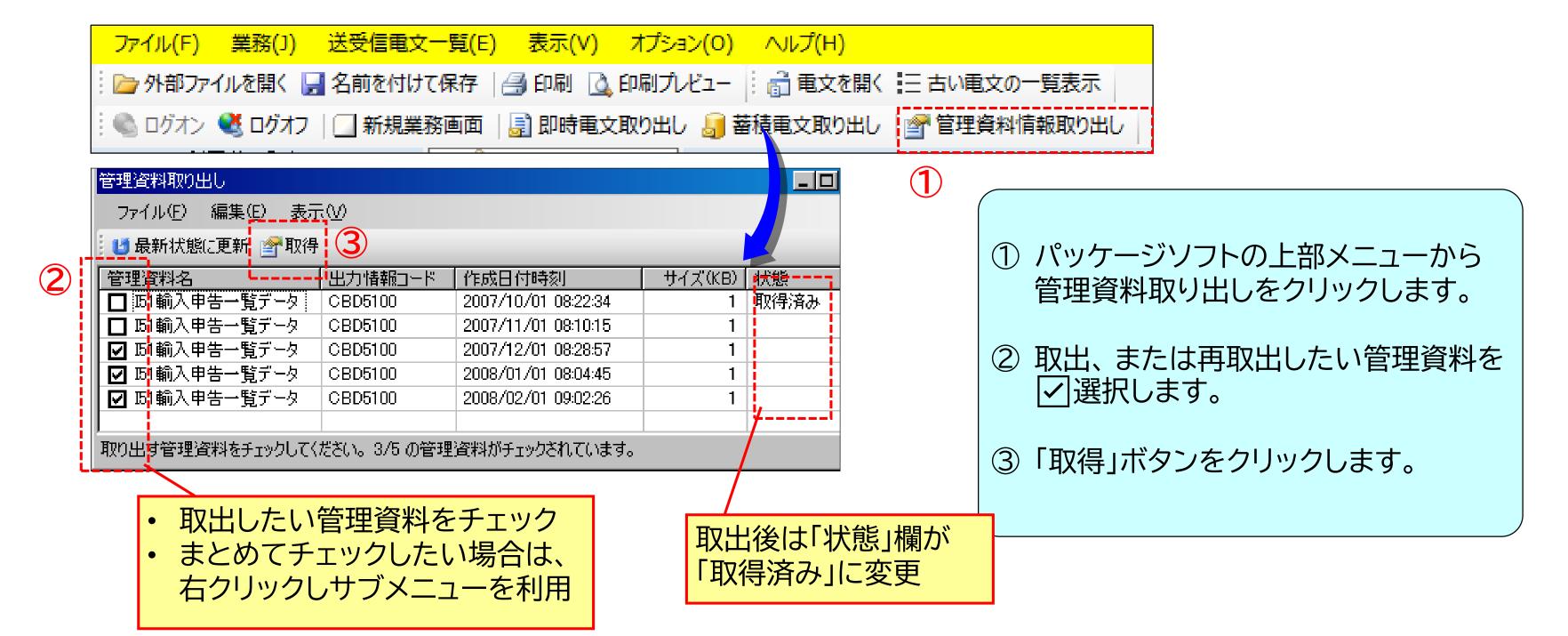
	番号	管理資料情報名	出力コード	周期	
海上	G01	輸入貨物搬出入データ	SBS1400	週報	月曜
	G02	輸出貨物搬出入データ	SBT0200	週報	火曜
	G05	貨物取扱等一覧データ	SBS1700	週報	火曜
航空	T19	航空輸入貨物搬出入データ	ABS6900	日報	•
	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ	ABS7000	日報	
	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ	ABT6300	日報	
	S14	航空輸出貨物搬出入データ	ABT6400	日報	



取得漏れを防ぐためにファイル名の「作成日」を確認しましょう。 海上は週報での配信のため、作成日は1週間おきです。 航空は日報での配信のため、作成日は連続した日付です。

管理統計資料の取出し





管理統計資料の展開

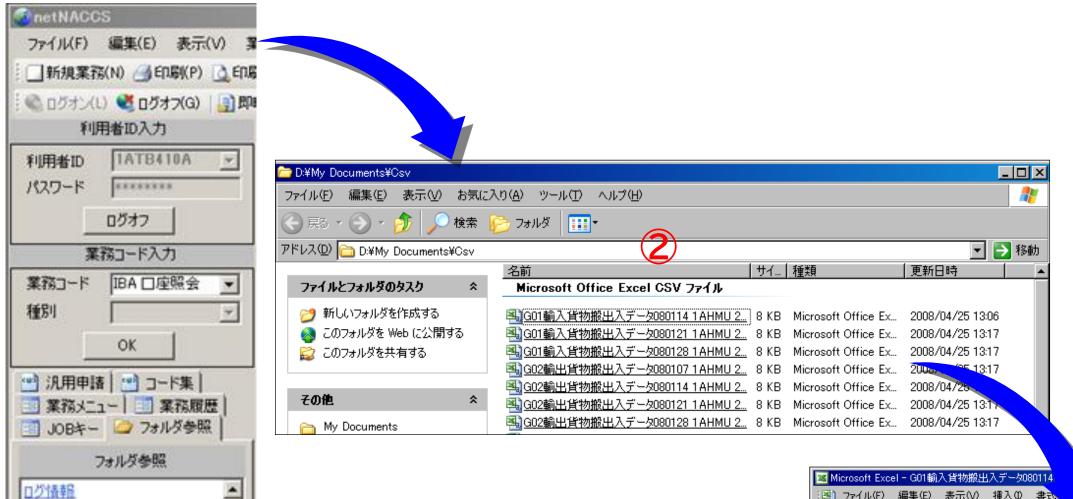
環境設定(井油)

管理資料電文

環境設定(処理方式)

许可承認貨物情報等





- ①「フォルダ参照」タブの「管理資料電文」を クリックします。
- ② 管理資料電文が保存されているフォルダ が開きます。開きたいファイルをダブル クリックし展開します。
- ③ 管理資料電文を表計算ソフトで開きます。(画面はMicrosoft社のMS-Excelで 展開したもの)



管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)



(1)NACCSの管理資料を活用した保税台帳

特定の期間中に保税蔵置場より全量搬出のあった輸出入貨物の搬出入データ、貨物取扱及び見本持出のデータを保税蔵置場単位に蓄積し、管理資料(CSV形式)として毎週特定の曜日に提供しています。

(2)保税管理資料保存サービス

保税管理資料データの取出し期間(保存期間)を**5年間**(通常は62日間)とするサービス「保税管理資料保存サービス」を提供しています。

ご利用にはあらかじめ利用契約の変更手続きが必要となります。(ご利用料金:1利用者コード毎に**月額 1,000円**)

注意点

- ・マニュアル処理された場合、従来どおり別途保税台帳に記帳する必要があります。
- ・2025年4月1日より関税法基本通達(34の2-4、34の2-9)の改正に伴い、電磁的記録により保税台帳を保存する場合の事前に税関への届出は不要となりましたが、社内管理規定に「帳簿の概要(保存方法を含む)」を規定する必要があります。具体的な取扱は管轄税関の保税部門にご確認ください。

保税ポータルはこちら

https://www.customs.go.jp/hozei/hozeiportal.html

管理統計資料の活用(保税台帳の作成について)



海上管理資料情報名

【G01 輸入貨物搬出入データ】

<u>前週中に</u>保税地域より搬出のあった輸入貨物の搬出入データを 保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸入貨物のデータも出力します。

【G02 輸出貨物搬出入データ】

前週中に保税地域より搬出(船積み含む。以下同様)のあった輸出貨物の搬出入データを保税地域単位に出力します。

なお、搬出取消しのあった輸出貨物のデータも出力します。

【G05 貨物取扱等一覧データ】

前週中に貨物取扱登録、貨物取扱許可された貨物の取扱等一覧 データを保税地域単位に出力します。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税地域単位に出力します。

航空管理資料情報名

【S13 航空輸出貨物取扱等一覧データ】

前日中に貨物取扱登録(仕分け及び仕合せの場合を除く)、貨物取扱 許可された輸出貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力し ます。

また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

【S14 航空輸出貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸出貨物のデータを保税蔵 置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸出貨物のデータも出力します。

【T19 航空輸入貨物搬出入データ一覧】

前日中に保税蔵置場より搬出入のあった輸入貨物のデータを保税蔵 置場単位に出力します。

なお、搬出取消しや訂正のあった輸入貨物のデータも出力します。

【T20 航空輸入貨物取扱等一覧データ 】

前日中に貨物取扱登録(改装・仕分けの場合を除く)、貨物取扱許可された輸入貨物の取扱等一覧データを保税蔵置場単位に出力します。また、見本持出許可申請または見本持出確認登録が行われた貨物においては、一定期間経過後に保税蔵置場単位に出力します。

保税管理資料保存サービス



対象管理資料を5年間保存

- ・対象管理資料を5年間保存します。
- ・管理資料再出力依頼(DLH01)業務の利用により、必要な時に対象管理資料の再取り出しが可能です。

BCP対策

・管理資料は災害に強い高品質なデータセンターに設置されたサーバー (NACCS)で保管され、バックアップとして安心してお預けいただけます。

コスト削減・低価格

- ・対象管理資料を5年間保存し保税管理資料保存サービスの利用料金は、「月額1,000円(税抜)」です。
- ・弊社のデータセンターを利用する為、自社システムを構築するよりも、運用 コストを抑えることが可能と考えられます。

保税管理資料保存サービス



サービス対象管理資料

	業務仕様書番号	管理資料名	出力情報コード	周期	備考
1	T19	航空輸入貨物搬出入データ(航空)	ABS6900	日報	
2	T20	航空輸入貨物取扱等一覧データ(航空)	ABS7000	日報	
3	S13	航空輸出貨物取扱等一覧データ(航空)	ABT6300	日報	
4	S14	航空輸出貨物搬出入データ(航空)	ABT6400	日報	
5	G01	輸入貨物搬出入データ(海上)	SBS1400	週報	月曜日配信
6	G05	貨物取扱等一覧データ(海上)	SBS1700	週報	火曜日配信
7	G08	輸入貨物コンテナ関連データ(海上)	SBS1800	週報	月曜日配信
8	G02	輸出貨物搬出入データ(海上)	SBT0200	週報	火曜日配信
9	G09	輸出貨物コンテナ関連データ(海上)	SBT0500	週報	火曜日配信

- ※利用可能業種:CY、保税蔵置場、航空会社、機用品業
- ※サービスの利用料金は、1利用者コード毎に月額1,000円(税抜)です。
- ※DLH01業務の従量料金は、4円(プランA)又は5円(プランB)です。

保税管理資料保存サービス



お申込み方法

・<u>利用申込の入力例(変更申込)</u> 「「14. 保税管理資料保存サービスの変更」をご参照のうえ、NSS(NACCSサポートシステム)よりお申込ください。



